



# 明治大学情報コミュニケーション学部

## 2024年度「国際交流（タイ）」募集要項

**追加募集**

留学先	タイ・バンコク シーナカリンウィロート大学
募集人数	情報コミュニケーション学部1~4年生 20名（最少催行人数10名）
派遣期間	2024年8月26日（月）～9月9日（月）
受入サポート	2024年6月10日（月）～6月30日（日）（交流国：タイ・ラオス）
研修費用概算	約¥208,000
応募期間	4月22日（月）～5月7日（火）午前9時30分まで ※詳細は「応募から参加までの流れ」を参照
応募資格	タイの学生との交流と学びが中心です。選考にあたっては、成績よりコミュニケーションに対する積極性や協調性などを重視します。多様な興味関心を持つ学生の応募を期待します。



### プログラムについて

#### 目的

東南アジアに友達をつくり、2週間一緒に勉強することで、みなさんの視野を世界に広げ、その後の大学での「学び」を変えましょう。「知っている」と思っていたことと実際の違いに気づくなど、いろいろな「気づき」が得られます。同じアセアンの中にありながら、社会事情が大きく異なるラオス学生との交流ができ、アセアンの多様性についても知ることができます。また、現在、この地域とのかけ橋となって活躍する本プログラムの先輩たちの話を聞きくことができます。東南アジアの国々は現在の世界情勢を考えるにも重要な地域です。また、将来この地域の人々と関わる仕事をする人も多いはず。先輩たちの話を聞きくことは、みなさん自身のキャリアイメージを広げるのに役立つはず。このプログラムの目的は、異なる社会や文化を背景とする学生との親密な交流から、みなさんに様々な「気づき」を経験してもらうことです。私たちは日本のやり方が優れていると感じていても、それが世界に通用するわけではありません。多様な背景を持つ人々と共に課題に取り組める能力は国際化が進む現代社会の中でますます必要とされてきます。難しいことはともかく、長時間、親密に外国の友人たちと交流する機会を持つことが大切で、たわいない会話からも多くの「気づき」を得られることでしょう。現地に出向き、五感をフルに使うことで、ぜひ、みなさんの「感性」を「世界」に広げてください。

## 使用言語

主として**日本語**。主たる交流相手は、タイの大学で日本語を学ぶ学生です。これまで国際交流に興味はあったものの、いま一步踏み出せなかった人でも、これをきっかけに国境を越えた交流を楽しみ、「国際化」の動きに物怖じしない**自信**につなげてください。ただし、日常生活・見学先はもちろん、訪問先企業では、ある程度英語が必要な場合があります。タイ語の履修者は、ぜひ、滞在中にタイ語でのコミュニケーションにも挑戦してみてください。

## 派遣プログラムについて

上記目的のため、現地の文化社会を知るための**講義**や**ワークショップ**に参加するほか、**日系企業の見学**を行います(三菱自動車タイランドなどを予定)。また、現地で活躍する先輩の講演・懇親の予定もあります。

また、タイの文化に触れるための観光を含みます。観光では、タイの学生らと小グループにわかれて市内をめぐるアクティビティも計画されています。

滞在中は、本プログラム参加学生の一人ひとりに日本語学科の学生が「バディ」としてつきます。親しい交流を通じて、忘れがたい経験ができますし、日常を安心して過ごせます。得がたい友情を築くことができるでしょう。

現地の医療は、非常に質が高く、**研修先の最寄りの病院**では日本語が話せる**医師・医療通訳**などがいるので、いざというときも安心して診療を受けることができます。現地にある**明治大学アセアンセンター**の支援もあり安心です。

一般的な、**安全管理・健康管理**については**事前学習**で指導するほか、現地でも最新状況に応じてアセアンセンターによるオリエンテーションを行います。また、現地で安価にスマホを利用する方法や大学でのWiFi利用についても、事前学習やオリエンテーションの際に説明します。**現地では、不便なくネット利用できます**。その点も心配無用です。

## 派遣先・交流大学について

本プログラムでは、タイとラオスという、インドシナ半島の中央に位置する国々の大学と交流を行います。交流プログラムへの積極的な参加は成績評価に十分に反映させます。

**シーナカリンウィロート大学 (SWU)** は、首都バンコクにあり、シリントン王女が大学院を修了なさったことでも知られる名門の国立大学です。駐在員らが多数居住する閑静な住宅街に隣接する大学で治安上も不安がありません。

URL : <http://en.hu.swu.ac.th/>

**モンクット王ラカバン工科大学 (KMITL)** は、タイの理工系のトップスクールの一つです。バンコク郊外(30kmほど)に広大な敷地をもつ大学です。交流先は教養学部で日本語を専攻する学生たちです。

URL : <https://www.kmitl.ac.th/>

**ラオス国家大学 (NUOL) (受け入れのみ)** は、タイの隣国ラオスのトップスクールです。ラオスは最後発途上国で社会主義国であり、タイとは社会・経済状況が全く異なります。交流を通してアセアンの国々の多様性を学べます。

URL : <http://www.nuol.edu.la/index.php/en/>

## 事前学習・受け入れプログラムについて

留学に先立ち、春学期定期試験終了後に事前の集中講義を実施します(出席必須)。また、6月に受け入れるタイやラオスからの留学生の学習支援など、文化交流プログラムへの参加が必要になります。

<b>ガイダンス</b>	5月11日(土)	アセアン概説、プログラム全体についての説明
	5月18日(土)/6月1日(土)	受入留学生サポートに関する説明・打合せ
<b>留学生受入</b>	6月10日(月)~6月30日(日)	この期間に12時間以上の留学生サポートが必須
	6月15日(土)・16日(日)	山中セミナーハウス合宿参加(1泊2日)(参加必須)
<b>事前学習</b>	8月1日(木)・2日(金)・5日(月)	タイに関する講義、健康管理・危機管理について その他、グループごとにプレゼン準備など
<b>帰国報告</b>	10月27日(日)	「国際交流」報告会(ホームカミングデー)(全員参加)

## 単位と評価方法

事前学習、タイ・ラオスなどの学生の受入支援に加えて、派遣プログラムの様々なアクティビティへの参加、帰国後の成果報告(帰国報告)、レポート作成をあわせて「国際交流」2単位(通年扱い)の単位を付与します。「国際交流」科目は履修上限単位数に含まれないので、他の科目で上限に達していても履修できます。

プログラムの費用・助成金について

費用（概算）：約¥20.8万円（対象者には学部助成あり ※）

事前振込：約20.8万円 7月上旬予定（学部助成は後日お振込み）

ア) 上記参加費に含まれるもの

- ホテル滞在費（朝食含む）約3.8万円（9,100パーツ）
- 航空運賃（空港使用料・海外空港税・燃油加算税・出入国税を含む）約13.4万円
- 貸し切りバス代金 約1万円
- 受入機関（SWU）研修費 約1.7万円（SWU 学生との市内観光1回含む）
- その他観光入場料
- 現地校友との懇親会（未定）
- 手配手数料

イ) 費用に含まれないもの

- 現地での食費（朝食以外）、細かな交通費、その他雑費 お小遣い等（3万円程度）
- 自宅⇄羽田空港の交通費
- 現地交通費（見学先への公共交通機関利用など）
- 海外旅行保険（5,000～10,000円）  
※本学指定の保険への加入が必須です。
- この他、留学生受入の際に、合宿や観光の費用として、9千円程度かかります。

- ・参加人数、為替レート、燃油サーチャージにより変動の可能性があります。
- ・最終的な支払い金額は、決定次第、お知らせします。
- ・7月上旬（予定）、明治大学が指定する銀行口座へ振り込んでください。振込先口座や締切日は、参加が決定した学生にのみ別途お知らせします。

※ 学部助成について（在学中2回まで）

学部から「国際交流事業への実習料助成」（実際の参加費用・渡航費により助成金額が異なる）を受けられます。対象者には別途お知らせします。

派遣予定日程表

月日	予定	滞在方法
8月26日（月）	8月25日（日）夜、午後9時頃、羽田空港集合、出発前の案内 8月26日（月）0:45 出発（日本航空 JL033 便利用予定） ⇒ 5:00 バンコク到着 / 6:00 公共交通機関でホテルへ移動	
8月27日（火）～9月8日（日）	【異文化交流に関する内容】 シーナカリンウィロート大学にて研修 ・現地学生とタイ語・タイ文化を学習 ・日本文化社会の紹介プレゼンテーション ・日タイ双方の文化に関する合同調査発表 【観光】 SWU 学生との市内観光・近郊（行先未定）の観光 2023年度はアユタヤ遺跡など 【キャリア形成に関わる内容】（以下を予定） 企業見学 三菱自動車タイランド、校友による講演を予定	バンコク市内 ホテル
9月9日（月）	帰国日 09:45 バンコク出発（日本航空 JL032 便利用予定） ⇒ 18:00 羽田空港到着、空港にて解散	

宿泊先

バンコク市内 SWU 周辺 ホテル（朝食：有、キッチン設備：無、原則として相部屋）

引率について

バンコクでの滞在期間を通じて学部教員が引率します。

現地「明治大学アセアンセンター」によるサポートがあります。

## 応募から参加までの流れ

<b>ガイダンス動画</b>	<p>担当教員によるガイダンスが、オンデマンド動画として用意してあります。過去のプログラムの様子も紹介していますので、ぜひ参考にしてください。下記 URL または 右の QR コードからアクセスし、視聴してください：</p> <p><a href="https://meiji-univ.ap.panopto.com/Panopto/Pages/Viewer.aspx?id=31fb4e7b-33f2-4a57-9b3b-b13f00239e76">https://meiji-univ.ap.panopto.com/Panopto/Pages/Viewer.aspx?id=31fb4e7b-33f2-4a57-9b3b-b13f00239e76</a></p>	 ガイダンス動画 QR コード
<b>応募方法</b>	0h-o!Meiji のアンケート一覧にある「国際交流（タイ）【追加募集】応募フォーム」から応募してください。	
<b>応募期間</b>	4月22日（月）～5月7日（火）午前9時30分	
<b>選考方法</b>	応募フォーム」の回答内容と面接によって選考。交流への意欲や協調性、留学への意欲を重視します。この他、TOEICスコア等、2年生以上はGPAも参考にします。	
<b>面接 （原則、対面）</b>	面接は30分程度の予定です。応募フォームにて、面接に参加可能な時間帯を選択してください。 ・5月8日（水） 和泉キャンパス 13：00～13：30、13：30～14：30、14：30～15：30 ・5月9日（木） 駿河台キャンパス 10：00～11：00、11：00～12：00、12：30～13：00 応募者には改めて0h-o!Meiji をとおして面接時間等をお知らせします。	
<b>選考結果発表</b>	5月10日（金）0h-o!Meiji にてお知らせ 合格者は5月11日（土）のガイダンスに参加	
<b>参加申込</b>	合格者のうち、正式に参加を申し込む者は、5月17日（金）17時までに参加申込書・保護者の同意書・パスポートのコピーを情報コミュニケーション学部事務室に提出してください。参加申込書提出後は、キャンセル料金が発生する可能性がありますので注意してください。	
<b>履修登録</b>	参加申込書及び保護者同意書を提出した者については、学部事務室で「国際交流」の履修登録を行います。	

## その他

- ・政変・大規模災害など不測の事態が生じ、渡航や受け入れが不可能になった場合には、その部分の学習について日本における講義・演習に代える場合があります。また、例えば、渡航・受入双方が行われないなど、それまでの実施状況に応じて、プログラムが中止になる場合があります。
- ・プログラム参加中に写真・ビデオ撮影をします。撮影した画像・映像は、明治大学の広報活動に使用されることがあります。申し込みをした時点で、その旨同意したものとみなします。
- ・次年度募集時に、参加者向け説明会にて報告をお願いすることがあります。
- ・「国際交流」は、派遣先が異なれば在学中複数回履修することができます。また、日程上に明らかな支障がない場合に限り、年間に複数回の履修も可能です。

<b>情報コミュニケーション学部 「国際交流」ホームページ</b>	<p><a href="http://www.meiji.ac.jp/infocom/office/shorttermexchange.html">http://www.meiji.ac.jp/infocom/office/shorttermexchange.html</a></p> <p>※最新の情報については、ホームページから確認してください。</p>	
<b>問い合わせ先</b>	情報コミュニケーション学部事務室（和泉・駿河台） <b>【開室時間】</b> 平日9時～11時30分、12時30分～17時 土曜 9時～12時30分	